

薪ストーブの楽しみ方

薪ストーブは暖を取るだけでなく、日常の暮らしにほっと安らぎを与えてくれ、心を温かくしてくれる、豊かな暮らしの道具…
道具を正しくいねいに扱うことで、暮らしがより上質なものになる気がします。
薪ストーブの手はじめ本として、ご活用いただけると幸いです。




本書および同梱のマニュアルは、しっかりとお読みいただき、記載の手順・注意事項にしたがって、正しくお使いいただくようお願いいたします。
また、すべてお読みいただいた後は、この本書および同梱のマニュアルは大切に保管をお願い致します。

ユーザーズサポートホームページのご紹介



メンテナンスご依頼

本誌に  動画有り の表記のあるものは、実際の作業の様子動画を、ホームページで公開しております。

ご質問やお問合せは、

＼ ホームページの右側にあります /

ホームページ「メンテナンスご依頼」フォームからも受付けております。

<http://www.sinken-users.co.jp/>



目次

1. 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと 3-5
2. 薪ストーブの基礎知識 6-7
3. 薪のことを知る 8-10
4. バックドラフトについて 11
5. 薪ストーブを焚いてみましょう 11-13
6. メンテナンスのこと 14-17
7. トラブル Q&A 18-19
8. 本誌「ストーブの楽しみ方」ダウンロード方法 20
(別紙にて、製品保証書、薪販売先をご案内しております)



1、安全にご使用いただくために特に注意して いただきたいこと



(1) お客様による据え付け、移設、本体・煙突の改造は行わない

据え付けや移設工事は販売店または専門業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。不備があると火災の原因になります。



(2) 据え付ける床、背面の壁等の仕上げをお客様にて変更しない

据え付ける床、背面の壁は不燃材料を使用し防火対策を施してあります。お客様にて仕上げを変更しないでください。不備があると火災の原因になります。



(3) ガソリン厳禁

ガソリン、軽油、灯油またはオイルなどを使用しないでください。火災の原因になります。



(4) スプレー缶厳禁

スプレー缶、カセットボンベ、ライターなどをストーブの上や周囲に置かないでください。高熱になり爆発する危険性があり大変危険です。



(5) 衣類の乾燥禁止

ストーブの上で衣類の乾燥はしないでください。落下物に着火して火災の原因になります。また、可燃物をストーブや煙突に近づけた状態で使用しないでください。



(6) 灰を可燃性の容器に入れない

灰は火が完全に消えたことを確認し、ストーブ本体が冷えている状態で、不燃性の灰入れバケツ等に処理してください。可燃性の容器に入れたり、完全に鎮火する前に処理をすると火災の原因になります。また、可燃物の近くで保管しないでください。



(7) 灰の処分方法

余った灰は、完全に冷えるまで不燃性の容器で丸1日以上保管したのち、燃えるごみとして処分してください。



(8) 定期的にメンテナンスを行う

定期的に本体及び煙突の点検、メンテナンスを行なって下さい。点検、メンテナンスを怠ると、正常な燃焼が行われず、ストーブの破損や火災の原因となります。(詳細はP.14-17をご覧ください)



(9) 慣らし焚きを行う

ストーブを焚きはじめる前には、必ず慣らし焚きを行ってください。初めから高温で使用すると破損の原因となります。(慣らし焚きについてはP. 11 ご覧ください)



(10) 設置後最初の焚きははじめは換気をしながら行う

設置後最初の焚きははじめ数回は、お部屋を換気しながら行ってください。ストーブと煙突に塗られている塗料が熱せられ、煙と臭いが発生します。



(11) 温度管理・空気量管理を適時行う

燃焼中は炉内の様子を適時観察し、適正な燃焼が行われていることを確認しながら使用してください。炉内に煙が充満する・異常な高温を発する等の異常があった場合は、絶対にドア等の開口部を開けないでください。(P. 11 バックドラフトについてを参照してください) また、扉をあけたままストーブから離れないでください。



(12) 天災地変後はそのまま使用しない

地震・水害・落雷などの天災地変にあった場合は、そのまま使用せず、本体および煙突の点検を行ってください。不安が残る場合は、ご使用にならずお問い合わせの販売店等へご相談ください。



(13) 煙突・給気筒のはずれ注意

煙突や給気筒がはずれたまま使用しないでください。煙が室内に漏れて健康に危険を及ぼすほか、火災の原因にもなります。



(14) 焚きすぎ注意

火力が強すぎると、ドアを開けたときに炎が漏れる、またはストーブや煙突が過熱され、破損の原因になります。



(15) 換気扇使用禁止

ストーブ使用中は換気扇を使用しないでください。炎や煙が室内に漏れるおそれがあります。
※ そよ風 2 の 24 時間換気も停めて下さい。



(16) ドアを開けたままの使用禁止

各ドアを開けたまま使用しないでください。また、ドアが閉まらないような長い(太い)薪は燃やさないでください。煙や火の粉が室内に漏れたり、薪に火がついたまま転がり落ちたりして火災の原因になります。



(17) 就寝・外出時は必ずドアを確認

ご就寝やお出かけの際には、すべてのドアが完全に閉まっているか確認してください。また、近くに可燃物を置かないでください。火災の原因となります。



(18) ストーブフェンスの設置

小さなお子様やペットがいるご家庭では、ストーブフェンスを設置してストーブに近づかせないでください。やけどの原因になります。



(19) やけど注意

ご使用中は、本体や煙突が非常に高温となりますので、火傷には十分気を付けてください。ドアの開閉時や薪の投入など、燃焼中に本体の操作を行う場合は、必ず保護手袋を着用してください。



(20) 消火器・煙感知器の設置

万が一のために消火器を決まった場所に設置することをおすすめします。また、万が一の場合も煙感知器(火災報知器)があれば、いち早く火災を知らせてくれます。お住まいの地域の火災予防条例に従い火災報知器を設置してください。



(21) 十分に乾燥した薪を使用する

(含水率 20%以下：目安→風通しの良い雨にかからない場所で 1～2 年以上乾燥させたもの)
湿った薪を燃やすと、ススやタールが大量に発生し、煙道火災の原因にもなります。湿った薪は燃焼しにくく、無理に空気量を増やすなどして燃焼させると、ストーブ本体や耐火レンガ等を傷め、燃焼効率も低くなり、暖まりません。



(22) 大量に薪を入れない。

大量に薪を入れると、ストーブ炉内が過度に高温となり、本体を傷める原因となります
また、内部のセラミックプレート等に薪の荷重がかかることで破損の原因となります。



(23) 廃材などは使用しない。

化学物質等により処理されたものを薪として使用すると、想定外の高温を発生し、ストーブ本体を傷めるばかりでなく、有毒ガスが発生し、非常に危険です。

海水につかった流木や、プラスチック、ビニール、発泡スチロール、生ゴミなども絶対に燃やさないでください。

また、接着剤やインク等に化学物質を使用している可能性がありますので、段ボール、新聞紙等の紙類も燃やさないようにしてください。(紙類を燃やすと燃えカスの紙片などが煙突から飛散し、近隣へ迷惑をかける場合もありますので使用しないようにしましょう)



(24) 水をかけて消すことは絶対にしない

熱いストーブに水をかけるとガラス面が割れるなど、大変危険です。災害時や異常な燃焼等ですぐに消火する必要がある場合は、必ず消火器で消火してください。

通常の消火は、給気口をすべて閉じれば消火できます。すべて閉じても、(内部にガスがたまることによる爆発を防ぐため) 多少の空気が入るように設計されているのですぐには消えませんが徐々に消えます。



(25) 火傷を負った場合

ご使用中万が一火傷を負った場合は、患部を冷やしてください。その後速やかに医師の診断をお受けください。



(26) 煙突火災が発生した場合

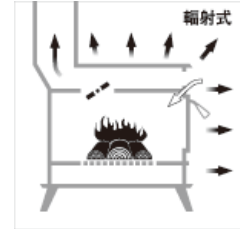
万が一、煙突火災が発生した場合には、速やかに各ドア及び空気調節レバーを閉じて屋外へ避難し、消防局、ならびにシンケンユーザーズサポートまでご連絡ください。

2、薪ストーブの基礎知識

(1) ストーブの種類

■ 輻射熱式（ラディエーション）

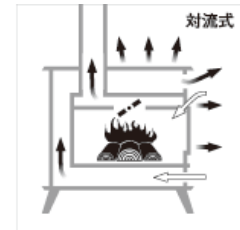
ストーブ自体の外壁が暖まって、ストーブ表面に接する空気を直接暖めます。ストーブのそばを暖めたい時などに有効です。



■ 対流熱式（コンベクション）

※ Jydepejsen(ユーロパイセン) は、この方式です。

ストーブの外壁に空気流通層を設けており、下部より冷たい空気を吸い、上部から暖まった空気を出します。輻射熱式に比べ、側面と、後壁面が比較的熱くならないので、壁や家具などの近くに置くことが可能で、安全性が高いと言われています。



(2) 一次燃焼と二次燃焼

■ 一次燃焼

ストーブにおいて薪そのものを燃焼させている状態のことです。薪に着火した最初の燃焼はこの一次燃焼の状態です。この状態は基本的には焚き火と同じ状態で、燃焼と同時に燃え切れなかった可燃性ガスが発生しています。一次燃焼の際に燃焼に使用される空気を一時空気と言います。

■ 二次燃焼

薪を一次燃焼させた時に発生する燃え切れなかった可燃性ガスに空気を混合して再燃焼させることです。「一次燃焼で薪自体を燃やし、二次燃焼では発生した煙を燃やす」という感覚です。上手な二次燃焼を行うことで少ない薪で、よりクリーンな排気が期待できます。

※ Jydepejsen(ユーロパイセン) は、この方式に独自の三次給気機構を加えたものです。

(詳しくは次のページを参照)

(3) 薪ストーブの代表的な燃焼方式の種類

■ 一次燃焼方式

構造がシンプルなタイプで、ドアを開けて暖炉的な使い方ができるモデルが多い。日本式の薪ストーブもこのタイプ。一次空気のみを供給する構造のため、燃費の面では良いとは言えません。また、煙突内部で不完全燃焼しやすく、煤（スス）やタールが付着しやすいです。この煤やタールが煙道火災の原因になるので、こまめに煙突掃除をする必要があります。

■ 触媒燃焼方式（二次燃焼方式）

アメリカの厳しい排気ガス規制をクリアするために考案された燃焼方式。網目状の触媒（キャタリティック・コンバスター）というパーツを通して二次燃焼を行います。点火時の一次燃焼により発生したガス（煙）は、この触媒を通すことによって、化学反応を起こし低温でも燃焼が始まります。しかし触媒は消耗品であり、2～4年で交換となります。

■ クリーンバーン方式（二次燃焼方式）

触媒を使わず、火室上部に通風の経路を確保し、その経路から空気を送り込んで、点火時の一次燃焼により発生したガス（煙）に新しい酸素を供給することによって二次燃焼を促す方式です。触媒方式に比べ、シンプルな構造で、部材の交換の頻度が少なく済みます。また、最大の長所は、綺麗な燃え方・美しい炎です。俗に言うオーロラ炎が楽しめます。

Jydepejsen（ユーロパイセン）は、この方式に完全に閉じる事のない三次給気機構を加えた仕組みになっています。

給気量を最小にした際にもバックドラフトを防止すると共に、クリーンな燃焼が出来るように工夫されていて、針葉樹の薪も安心して使用していただけます。

その為、給気量を最小に絞った際も内部の薪はゆっくり燃焼し続けます。

三次給気口

耐火レンガ板の上部にある穴から空気が送られます。



3、薪のこを知る

初めに、薪の調達について... ※調達先は、別紙でご案内しております。



薪は、ホームセンターや道の駅、インターネットなどでも販売されています。乾燥さえしていれば、すぐに燃料として使うことができますが、

シーズン前及び、シーズン中は、売り切れていることがほとんどです。薪の手配・準備は来シーズンのものを、1年前に予約するという形が一般的です。お早めの手配、注文することをおすすめ致します。

1年間の薪の消費量は、お住まいの地域の気候によって異なりますが、太陽熱で床暖房が期待出来ない日のみの使用で考えますと、約30～50束前後で、冬1シーズンは大丈夫かと思えます。

(1) 広葉樹と針葉樹

薪となる木は、「広葉樹≒堅木」と「針葉樹≒軟木」の二つに分類されます。針葉樹を薪に使用してはいけないと思っている人もいますが、針葉樹も立派な薪になります。堅木・軟木の違いや樹種により違いのある薪の性質を理解し、より豊かな薪ストーブライフをお楽しみください。

■ 広葉樹（堅木・雑木）

代表的な樹種：ナラ・ニレ・コナラ・クヌギ・クスノキ・カシ・サクラ・カキなど 一般に密度が高く、火持ちが良いのが特徴です。（※広葉樹の中でもシラカバやポプラ等は軟木に該当するものもあります）

■ 針葉樹（軟木）

代表的な樹種：スギ・ヒノキ・カラマツ・アカマツ・モミ等 一般に広葉樹に比べ、密度が低く、乾燥しやすい木です。樹脂や精油成分が多く含まれており、着火性が良くカロリーも高いので焚きつけに使用するのに向く木です。「針葉樹は薪ストーブには不向き」といわれることがありますが、油分を含み、着火性が良いという特徴のためにそのようにいわれることがあるようです。針葉樹を燃やすと一気に温度が上がります。そのため、適正に温度管理をしないとストーブ内部が高温になりすぎ、炉内を痛めてしまうことにつながります。針葉樹を薪として使用する場合は、適正な温度管理に注意し、焚き付けとして利用したり、広葉樹3に対して針葉樹1ぐらいの割合で混合して使用するなど、その特徴を生かした使い方をすると十分薪として活躍してくれます。

(2) 乾燥薪について

■ 含水率

20%以下の薪を使用しましょう。

伐られてすぐの生木は、50%が水分です。薪として使用するためには水分を20%前後まで乾燥させる必要があります。十分に乾燥していない薪を使用すると、薪ストーブの性能を十分に引き出すことができないばかりか、燃やすとクレオソートやススが多く発生するため、煙突内に付着し、「煙道火災」の原因にもなってしまいます。**薪の状態、煙突掃除の回数を大幅に減らすことが可能です。**

木の乾燥度（含水率）を測るには「含水率計」というものがあります。一台用意しておくとお便利です。数千円ほどで売られています。

* 含水率計の使い方 *

1. 計りたい薪を斧で新たに縦割りします
 2. 木の筋の方向に（縦方向）針を4mmほど差し込む
 3. スイッチを”ON”にして測定します
 4. 同じ薪を3～4カ所を計り平均を計算します
- ※20%を大きく越える数値が出る場合は、まだ使用しないようにしましょう。



■ 使ってはいけない薪

100%無垢材以外の木は、薪として使わない。

十分に乾燥していない薪、建築廃材等で防腐処理やペンキや接着剤等付着・浸透した木材、海水に浸かった流木などは有毒ガスの発生の要因となったり、ストーブ本体や煙突を傷める原因となることがあるため使わないよ

■ 薪の大きさ

薪の長さは、各ストーブの炉内の広さによって異なります。詳しくは各ストーブの取り扱い説明書をご確認ください。薪の太さは、大きく分けて3種類用意しておくとう便利です。

「焚き付け用」「中ぐらい」「長時間用」です。

最初は焚き付け用、その後「中ぐらい」炎が安定してきたら、「長時間用」の太い薪をくべる。というように徐々に薪を太くしていくと、炎の調整をしやすくなり、ストーブの温度や燃焼時間をコントロールしやすくなります。

はじめ、

焚き付け用
細い薪や枯れ枝
直径2cm前後



中ぐらい
直径5cm前後



炎が安定したら、
長時間用
直径10cm前後



■ 薪の保管・管理

水気のあるところに保管しない。

冬に切った材は含水率が低く、乾燥しやすいと言えます。冬に薪を入手し、翌年まで1年寝かせておくと良いでしょう。逆に春から夏に切った材を、その年の冬に使用するのには難しいです。

2年間乾燥させると、含水率は18%以下まで低下しますので、薪として最適です。

保管場所は、雨や雪で濡れない、水気のない場所が最適です。

家の軒下や、屋根のある薪棚を設置し保管しましょう。

また、地面からの湿気にも注意し、地面に直置きすることはできれば避けた方が良いでしょう。



近日中に使う分は、室内に保管しておくと、乾燥して良く燃えます。

■ 薪割り

薪を薪屋などから購入する場合は、もともとある程度の大きさに揃えてありますので、薪割り斧のような大ぶりの斧は必要ありません。

その場合、手斧があれば、大きすぎるときや、焚き付け用に小さくしたい時に重宝します。

間伐材等で丸太など大きな材は、薪割り斧などを使用する必要があります。

割る材の大きさや材の特性に合わせて、必要な薪割り用の斧を選んで使用するのも薪ストーブライフの醍醐味の一つかもしれません。



～ 揃えておくと便利な薪割りの道具 ～

● 手斧

購入した薪を程よいサイズにする際は、手斧があると便利です。



● 楔(くさび)

節やコブなどがあり、割れにくい頑固な木を割る際、楔を利用します。



● 薪割り斧

玉切りした薪を割る場合は、薪割り斧が必要です。



4、バックドラフトについて



バックドラフト現象とは、薪ストーブの空気量を絞ることによって炉内の空気量が足りなくなり、燃焼している薪が不完全燃焼を起こす現象です。

・起こるとどうなるの？

バックドラフトが起こると、炉内に煙が充満したり、ストーブの開口部（空気取り入れ口など）から煙を噴出したりといった現象が起こります。

・どんな時に起こりやすいの？

熾き火が赤々と燃えているような高温での使用状態のときに新たに薪を投入し、空気量をいっぱい絞った（燃焼を抑えた）時などに起こりやすいです。ガラスドアや薪投入口などの開口部を開けることは大変危険なので絶対にしないでください。炉内の不完全燃焼ガスに開口部からの空気が流入し、爆発的に燃焼することがあります。

・起きたらどうするの？

ストーブの空気調節レバーを開けて炉内の空気量を増やしてください。また、ダンパー付の煙突を使用している場合は、煙突のダンパーを開けることにより不完全燃焼ガスを煙突から排出し解消することができます。

5、薪ストーブを焚いてみましょう

(1) 慣らし焚きを行う

薪ストーブは燃焼室が直接炎にさらされるため、高温と常温の温度差に馴染ませるために、必ず、慣らし焚きを行いましょう。シーズン初めは毎年2回、新品時は最低4回が目安です。

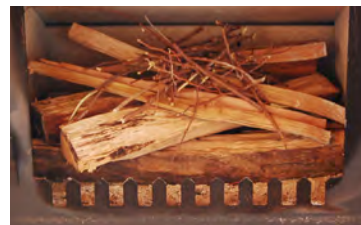
① 薪をくべます

薪の組み方は、下から着火する場合は、焚き付け材を下に。

上から着火する場合は、焚き付け材を上にして薪を組みます。それぞれの薪ストーブに適した量を詰めてください。



下から着火する時の
焚付けの並べ方



上から着火する時の
焚付けの並べ方

使用中の換気扇を停めて下さい。炎や煙が室内に漏れるおそれがあります。
※そよ風2の24時間換気も停めて下さい。

焚くのは、燃焼室に詰めた薪の分1回だけです。新品時はこれを朝夕各1回ずつ行い、4日間ほど続けてください。シーズンはじめは2日間です。この際、高温になりすぎないように注意してください。

* 着火を助けてくれるアイテム *

1. 着火剤（木質系着火剤、パラフィン系着火剤、ハイブリッド着火剤等があります。
（インターネットおよびホームセンターもしくは専門店等でお買い求めください。）

2. 焚き付け（杉葉、小枝や割り箸、杉皮、小割にした薪などが焚き付けとなります）

ペニヤ等の合板や段ボールには石油系接着剤が使われていることがあるため、有毒ガスが発生したり、高温になりやすく本体にダメージを与える恐れがあるので、おすすめ致しません。

新聞紙等は燃えカスが煙突を通して外部に出て行って隣家の迷惑になることがあるので要注意です。

(2) 本燃焼まで燃やしてみましょう

① ストープ本体の空気調整レバーはすべて全開にします

慣れるまでは、焚き付けを多めに入れるとうまく着火できます。
また、薪や焚き付けが空気に触れる面積をできるだけ多くなるように、組みま
しょう。
井桁状や三角形などが組みやすいですが、ストーブの種類によって炉内寸法が
違いますので、使っていくうちに、我が家のストーブに適した薪の長さや組み
方がわかってくるかと思います。

ストーブレバー



② 焚き付けに火をつけます

一か所ではなく、全体のバランスをみながら
数か所に火をつけると全体にバランスよく火
が回りやすくなります。



焚き付けに着火したらドアを閉めます。

ドアを閉めた後、どうしても火勢が落ちるような場合は、少し（2～3 cm程度）ドア開けて、空気を供給
してください。但し、絶対にドアから離れないようにし、火の状態を確認しながら行って下さい。

この時、**20%以下の含水率の乾燥した薪**であればすぐに焚き付けから
薪へ燃え移ります。薪が炭化しはじめるまでしばらく待ってください。



炭化し始めたようす



少し開けて、空気を入れる



着火時に、以下のような状態になる場合は、薪の状態や室内の環境を確認してみてください。

困った①

黒い煙ばかりが出て燃え広がらない

…… 乾燥が不十分かもしれません。十分乾燥した薪かどうか確認してみてください。

困った②

煙が煙突のほうではなく、室内に入ってくる。

…… 室内の換気扇や**そよ風の24時間換気**が動いてませんか。

火が安定するまでは換気扇を止めるか、窓を少し開けてみてください。

困った③

煙ばかりが出て火が大きにならない

…… ストーブ本体の空気調整レバーが閉まっていませんか。空気調整レバーを全開に

してください。（煙突ダンパーがある場合は、煙突ダンパーも全開にしてください）

③ 太い薪を入れます

最初に入れた薪が十分に燃焼すると炎が無くなり、薪が炭化し赤く光を発する状態になります（この状態を熾火（おきび）と言います）。この状態になったら、太い薪を入れます。薪は十分な量を入れてください。少なすぎると次の工程がうまくいきません。



熾（おき）火（び）の状態



薪を追加する際のドアの開閉は、ゆっくりと行って下さい。
急に開けると、火の粉が飛んだり、炎の勢いが強まったりしてしまいます。

太い薪を入れた後、炎の状態を見ながらストーブ本体の給気レバーを絞ります。最初は半分ぐらいに絞り、徐々に炎の様子を見ながら絞っていくと、カールするような美しい炎が表れます。



④ 薪を追加します

薪を追加する際は、炉内の寸法にもよりますが、一本ずつ追加するよりも、一度に2～3本程度追加して、追加した後は一度給気レバーを全開にして燃焼させ、熾（おき）火（び）になったらレバーを絞ってゆっくり燃焼させて、次の薪をくべる。というサイクルが理想的と言えます。

薪を追加した当初は十分な酸素が必要ですが、熾き火になってからは少ない酸素でその熱を維持することができます。熾き火の状態で薪を追加する際は、薪はできるだけ密着させて空気に触れる面積を少なくすると、火持ちが良くなります。

⑤ 火を消化したい

一般的なストーブは、全ての空気調節レバーを絞り、給気を遮断してください。ゆっくりと燃え尽き、消火します。

ユーロパイセンのストーブの場合は、給気を絞っても薪が燃え尽きるまでゆっくりと燃え続ける仕組みとなっています。外出前には薪をたくさんくべないのが一番です。熾火になった薪を火かき棒などで細かく崩して広げておけば、いくらか早く燃え尽きます。

どちらの場合にも、絶対に水をかけて消さないで下さい。

①～⑤は基本的な一連の流れです。

細かい手順は、機種によっても異なりますので、上記の流れを参考にしてください。使っていくうちに自分なりの効率的な方法が見つかるかと思えます。

6、メンテナンスのこと

気持ちよく薪ストーブライフを楽しむためには、日常のお手入れや定期的なメンテナンスなど、薪ストーブ本体や煙突、ストーブの周囲を最善の状態に保つことが大切です。と言っても日頃から気を付けていれば特に大変な作業は必要ありませんので、お手入れも薪ストーブライフの一貫として楽しんでください。

薪ストーブ本体のお手入れ

■ ドアガラス --- 気になったら、灰できれいになります

ガラスに付着した煤（スス）は、熱効率には問題ありませんが、気持ちよく炎を楽しむためには、ガラスの清掃をおすすめします。

乾いていない薪を使用すると煤が付きやすく、乾燥薪を使用すれば煤はつきにくいですが、煤がついた状態で、よく乾燥した薪を高温で燃やすだけでも、ガラスに付着した煤が焼かれてきれいになります。お試しください。

専用のガラスクリーナーでも可能ですが、最も簡単で手軽に出来る方法は、濡れたティッシュペーパーにストーブ内の灰を適量付けて、ガラス面を擦ると綺麗に煤（スス）が取れます。これは、灰が水に濡れることでアルカリ性を発し、クリーナーとしての役割を果たしてくれる為です。



この作業は、必ず薪ストーブの熱を十分冷ました状態で行ってください。ガラスが高温すぎる状態で行うと濡れたティッシュがガラスに触れた瞬間に、温度差で割れることがありますのでご注意ください。

■ 灰の片づけ（使用するたび）

燃焼皿内や、灰受けが灰でいっぱいになる前に灰を取り出してください。

取り出した灰は、いっけん火が消えているように見えても、まだ火が残っている場合があります。蓋付きの不燃物の容器に一昼夜入れてからお住まいの自治体の分別要領に合わせて捨てるようにしてください。

* 使える豆知識 *

伝統的な藍染めでは、灰汁がとても重要で、特に堅木の灰は重宝されるそうです。近年は薪ストーブを使う家庭が減り、藍染め職人さんは灰の入手も一苦労だとか。江戸時代には「灰屋」という職業もあったほど。そのほか陶芸の釉薬に使われたり、山菜のあく抜きにも利用できる優れもの。ポピュラーなのは、灰のアルカリ成分を利用して畑の酸度矯正に利用したり、天然肥料として使用したり…と、灰は全く棄てる処が無い資源です。

■ 本体その他の部分の清掃（定期的）

煙の排気経路および燃焼室内、給気口などは定期的に点検し、煤（スス）が溜まっていたり、ほこりが溜まっていたりする場合には、ブラシや掃除機等で清掃してください。

※ ストープ内のサビについて ※



ストーブは、常に煙突を通じて外気に触れており、環境条件によっては、炉内は湿気を持ちます。また、高温による燃焼で熱酸化が起きます。熱酸化や湿気によりストーブ内に錆が発生することがありますが、使用上、及びストーブの性能には問題はありませんのでご安心してお使い下さい。ストーブ内に灰が残っていると、外気からの湿気だけでなく、灰自体も湿気を持ってしまいますので、シーズン終了時には、必ず灰を全て取り出すようにして下さい。

煙突のお手入れ

■ 煙突掃除（定期的）

薪ストーブのメンテナンスの中で、最も重要なお手入れが煙突掃除です。煤（スス）がたまると、煙道火災の原因になりますので、シーズン終了ごとに点検や確認を行い、煤（スス）がたまっているようなら掃除を行って下さい。

また、使用する薪の状態と煙突掃除は、大きく関係します。十分に乾燥していない薪を使用すると、クレオソートやススが多く発生するため、適した薪を使うことで煙突掃除の回数を大幅に減らすことができます。



煙道火災とは？

煙突内部のタール（ヤニ）に引火して煙突内部が燃え上がる現象。これが起きると煙突の表面温度が上昇し、場合によっては近くの可燃物を熱して発火を誘引する原因となる事があり危険です。

▼ 燃焼効率が悪く、レインキャップに煤が付着している様子



TRY ① ひとまず確認!!

タールの固着により煙突が外せなくなってしまうことがあります。

特に1年目は、薪が乾燥していなかったり、薪の燃やし方や炎の調整など慣れない為、上手に燃やせているかを確認する上でも、必ず一度、煙突を取外し、内部を覗き込み、煤の付着を確認して下さい。



① バンドを固定している金物を起こして、バンドを取り外します。



② バンド下の太い部分を下げると、接合部が外れます。



③ 煙突を上部に送りながら取り外します。

TRY ② 煤落とし剤で手軽に掃除

また、市販の煤落とし剤（クレオソートリムーバー）を使って、煤を落とすこともできます。下火になった炭にクレオソートリムーバーを混ぜ、中くらいの薪を1本入れ、薪を燃焼させます。ガスと煙突内の堆積物が反応し、堆積物が落ちやすくなります。とても簡単ですので、ぜひ取り組まれることをお勧めします。



Point

煤落とし剤をお使いの際は、炉内上部の耐熱レンガを取り外して、薪を燃焼させて下さい。

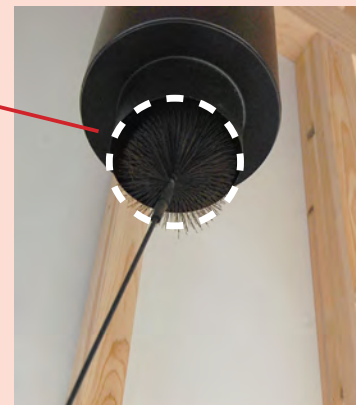
クレオソートリムーバー 2000円程度
ホームセンター・インターネットで購入出来ます。

TRY ③ ブラシを使って掃除

1. 煙突を取り外します。
2. 煙突の先まで届く長さのロッドやピアノ線の先に、煙突の内径にぴったり合ったワイヤーブラシ取付け、下からブラシを入れて行います。煙突下にビニール袋を付け、ブラシを差し込んだ箇所をテープでふさぎ、周りに煤が落ちないようにします。



- ※ 脚立が必要になる場合もあります。
- ※ 2人以上でされることをお勧め致します。



Point

お手入れ、掃除道具は、チムニーブラシ、チムニーロッド、室内用煙突掃除袋、クレオソートリムーバー等の名称でホームセンターやインターネット等で販売されています。



【煙突掃除 参考商品】
延長式ロッド



ピアノ線式

また、これらの作業は、ユーザーズサポートでも承っております。
金額は、煙突の位置や屋根の勾配等によって異なりますが、30,000～50,000円位です。
詳しくは、お問合せ下さい。お見積り致します。

各種部材（消耗品）の交換

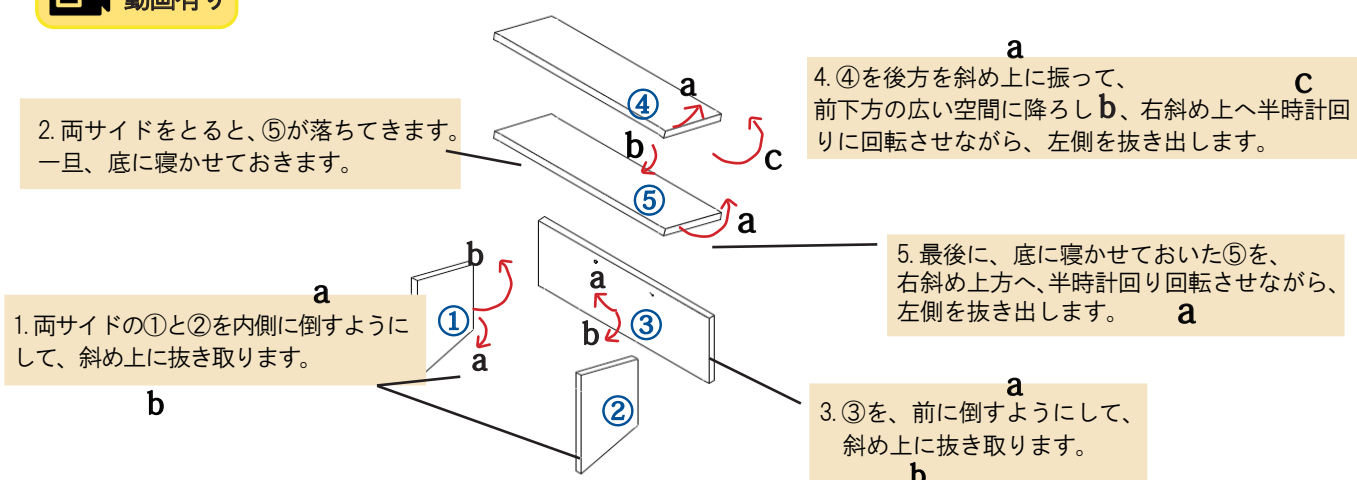
■ 耐熱板の交換 ※耐熱板は消耗品です。

ひびが入ったり、割れたりした場合には、新しいものと交換してください。絶対にそのまま使用しないようにしてください。（セラミック板の形、サイズなどは機種によって異なります。）

カントリー、カントリーキッチンの交換手順をご紹介します。

まずはじめに、ストーブ本体上部（両サイド）のツメを起こしてください。

※ストーブ輸送時の倒れ防止用です。繰り返し起こすことで、折れてしまうことがあります。使用には問題はありません。



セラミック板は、やわらかい為割れたり、欠けやすいです。ていねいにお取扱いください。



カントリーキッチン・カントリー用

セラミック板（耐火レンガ） 1枚 11,000円（税込み）

シンケンユーザーズサポートにて販売しております。別途、配送料がかかります。それ以外の機種は、お尋ねください。

■ ガasketの交換 ※ガasketは消耗品です。

開口部の気密を保つためについているガasketは古くなると交換が必要です。

交換の目安は、紙幣のような紙を扉に挟んで引っ張ってください。紙が抜けるようであれば、交換が必要です。

交換の場合、古いガasketを外し、サイズを確認して、新しいガasketを専用耐熱ボンドで接着してください。



ガasket 1mあたり 1,000～2,000円程度、専用の耐熱ヒートボンド 1,000～2,000円程度でホームセンターやインターネット等で販売されています。

ガasket 1m 1,300円位 ・ 専用耐熱 ヒートボンド 1,100円位

7、トラブルQ&A

質問	原因	解決策
薪が燃えにくい	薪が湿っている	十分に乾燥した薪をご使用ください。（「薪のことを知る」P8 参照）
	太い薪から焚いている	いきなり太い薪をくべずに、枝木や細い薪から焚きながら太い薪をくべ足して下さい。 （「薪のことを知る」P9 及び「薪ストーブを焚いてみましょう」P11～参照）
	煙突本体の空気調整バルブを絞りすぎている	バルブを全開にして下さい。また、給気口付近に埃やゴミが付着している場合は、それらを取り除き、給気を妨げないようにして下さい。
	煙突が詰まっている	煙道内に煤や鳥の巣などの異物が詰まっていることがあります。 煙道内の点検を兼ねた煙突掃除を行って下さい。 （「メンテナンスのこと」P15 参照）
	ストーブ使用中に換気扇を使用している ※そよ風2の24時間換気も停めて下さい。	ストーブを焚く際に換気扇を使用するとドラフト（上昇気流）が弱まり燃えにくい場合があります。 換気扇の使用を止めるか、窓を開けるなどして給気を行なって下さい。
薪が早く燃えてしまう	細い薪を焚いている	枝木や細い薪から焚き始め、十分に燃焼し始めたら徐々に太い薪をくべて下さい。大きな薪は小さな薪より長く燃焼します。 （「薪ストーブを焚いてみましょう」P11～参照）
	空気調整バルブの位置は？	焚き始めや追い焚き時に開く空気調整バルブは適宜絞って火力を調整して下さい。（「薪ストーブを焚いてみましょう」P11～参照）
	ドアを開けたまま焚いている	ドアを開けたまま焚くと、空気を大量に取り込み、薪の燃焼を促進させてしまいます。
	ガスケットが消耗している	ガスケットが消耗していると隙間から空気を取り込み、薪の燃焼を促進させてしまいます。 定期的な点検と消耗している場合はガスケットの交換をお勧めします。 （「メンテナンスのこと」P17 参照）
	薪に針葉樹を使っている	カシなどの広葉樹に比べ、スギなどの針葉樹は一般に油分が多く木質ガスが多く出るため着火性は良く火力は強いですが、短時間で燃え尽きてしまうので火持ちが悪いです。広葉樹は炭となる部分が多く、長時間に渡り表面燃焼を続けます。（「薪のことを知る」P8 参照）
煙が逆流してくる	煙突が詰まっている	煙道内に煤や鳥の巣などの異物が詰まっていることがあります。 煙道内の点検を兼ねた煙突掃除を行って下さい。 （「メンテナンスのこと」P15 参照）
	強風が吹いている	強風によって正常なドラフトが得られず、煙が逆流することがあります。
	ストーブ使用中に換気扇を使用している。 ※そよ風2の24時間換気も停めて下さい。	ストーブを焚く際に換気扇を使用するとドラフト（上昇気流）が弱まり、煙が逆流するケースがあります。 換気扇の使用を止めるか、窓を開けるなどして給気を行って下さい。

室内の温度がなかなか上昇しない	薪が湿っている	十分に乾燥した薪をご使用ください。（「薪のことを知る」P8 参照）
	薪の量が少ない	中薪（手首くらい）から太い薪（二の腕くらい）くらいの薪を多めに入れてください。また、本体が暖かいのにお部屋が一向に暖まらない場合は、お部屋に対して、ストーブ本体の容量が不足していると考えられます。
	空気調整バルブの位置は？	給気を絞りすぎているようでしたら全開にしてください。
	ストーブを設置した建物の性能、及び立地条件	建物の立地条件や気象風土、構造や気密・断熱性能に原因がある場合も考えられます。
ガラスがひどく曇ったり、燃焼室内の耐火煉瓦などが煤ける	薪が湿っている	湿った薪を燃やすと、クレオソートがガラスに付着し曇ります。 十分に乾燥した薪をご使用ください。 （「薪のことを知る」P8 参照）
	太い薪から焚いている	いきなり太い薪をくべずに、枝木や細い薪から焚きながら太い薪をくべ足して下さい。（「薪ストーブを焚いてみましょう」P11～参照）
	空気調整バルブを絞るタイミングが早い	不完全燃焼すると煤やタールが発生しやすくなります。完全に燃焼していることを確認してから空気調整バルブを絞ってください。（「薪ストーブを焚いてみましょう」P15～参照）
	ガスケットが消耗している	ガスケットが消耗していると隙間から空気を取り込み、薪の燃焼を促進させてしまいます。 定期的な点検と、消耗している場合はガスケットの交換をお勧めします。 （「メンテナンスのこと」P17 参照）
煙突がよく詰まる	薪が湿っている	十分に乾燥した薪をご使用ください。（「薪のことを知る」P8 参照）
	給気調整バルブを絞った状態で焚き続けている	不完全燃焼によるクレオソートやタール、煤等が煙道内に蓄積されやすくなり、煙道内火災の原因にもなります。給気調整バルブは適宜絞ってください。
	煙突の曲がりが多い、横引きが長い	煙突は曲がりの数が多い場合や横引きが長いと、ドラフト（上昇気流）の障害となります。結果、煙突が暖まらず煤やタールが溜まりやすくなります。煙突をしっかり暖めてドラフトを強くして下さい。
炉内の耐火レンガにヒビが入っている	燃焼室内で薪が暴ぜた衝撃などでヒビが発生する場合があります	耐火レンガ本来の機能である、燃焼室内の温度を高めたり、発生した高温状態の熱から本体を保護する役目には支障をきたしていませんが、耐火レンガ等が砕け落ちてしまった場合は、 ストーブ本体にダメージを与えてしまう恐れがありますので、交換を要します。 （「メンテナンスのこと」P17 参照）
空気調整バルブを絞っても火が消えない	一般的なストーブの場合、ガスケットが消耗するなど密閉性が低下し、空気が流入している。	一般的なストーブの場合、原因は様々ですのでシンケンユーザーズサポートまでご連絡ください。
	ユーロパイセンのストーブの場合、給気を絞っても薪が燃え尽きるまでゆっくりと燃え続ける仕組みとなっていますので、特に異常ではありません。	ユーロパイセンの場合は、外出前には薪をたくさんくべないのが一番です。熾火になった薪を火かき棒などで細かく崩して広げておけば、いくらか早く燃え尽きます。（「薪ストーブを焚いてみましょう」P15 参照）

薪ストーブの楽しみ方 メンテナンス手順、マニュアル動画のご案内



www.sinken-users.co.jp

シンケンのホームページを下までスクロールすると、入り口があります。



ユーザースUPPORTのホームページから、いつでも最新版の「お手入れマニュアル集」をダウンロードすることができます。また、各種メンテナンス方法やメンテナンス動画なども見ることが出来ます。

お手入れ

お手入れマニュアルダウンロード

場所 季節 検索 動画 用語辞典 工具箱

「場所」や「季節」「ワード検索」でマニュアルを確認することが出来ます。

「動画」をクリックすると、マニュアルを動画で確認することが出来ます。

「お手入れマニュアルダウンロード」をクリックすると、各種マニュアル文書がダウンロード出来ます。

屋外

外壁・屋根 (3) デッキ・庭 (15)

屋内

窓 (33) 建具 (扉など) (12) 造作・家具 (5) キッチン (5)

ダウンロード出来るマニュアル冊子 / (一例)

- ユーザースUPPORT通信2020.12
991.2 KB 木の窓のメンテナンス方法の紹介、庭木の剪定やメンテナンスを始動
- 住まいのお手入れ (上)
2.1 MB 住まいのお手入れ方法をまとめた (上巻)
- 木の窓との付き合い方
4.3 MB シンケンの木の窓 (プロファイルウィンドウ) のお手入れ方法です。
- 薪ストーブの楽しみ方
4.2 MB 薪ストーブを安心・安全に楽しんでいただくために。
- そよ風2フルマニュアル
1.7 MB そよ風2の仕組みや様々な設定方法まで網羅したマニュアルです。

ストーブのお取り扱い方法のご質問・お困りの点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

シンケンユーザースUPPORT株式会社 

TEL 099-293-7228

FAX 099-293-7229

MAIL users@sinkenstyle.co.jp